

金沢学院大学美術文化学部文化財学科

所在地 〒920-1392 金沢市末町10番地 TEL 076-229-8775 (学部代表) FAX 076-229-8718 (学部代表)

代表者 見瀬 和雄 (文化財学科長)

E-mail bunkazai-hp@kanazawa-gu.ac.jp

URL <http://www.kanazawa-gu.ac.jp/university/bijyutu/bunkazai/index.htm>

設立年月日 平成12年(2000年)4月

【設立と沿革】

金沢学院大学美術文化学部文化財学科は平成12(2000)年4月1日に、百万石文化の伝統を受け継ぐ歴史文化都市「金沢」の地に発足しました。本学科では、「日本史」、「考古学」、「保存・環境」の3領域を設け、それらの専門分野の学問的基礎を身につけるとともに、関連する文化財を多面的に学ぶことによって、人間として豊かな文化的資質を磨き、あわせて地域文化の発展に寄与できる人材を育成します。

【コース】

●日本史コース

日本の古代史・中世史・近世史・近代史の専門知識を学び、文化財が生み出される歴史社会への理解を深めます。実際の古文書を使って、文化財としての古文書の整理方法を学び、石碑などの石造遺物を現地調査し、古文書以外の文献史料をも使った歴史の研究方法を学びます。

●考古学コース

遺跡やそこから発掘される考古資料を対象に、基礎的な考古学の方法論を学んだ上で、資料の取り扱い、発掘調査、資料の記録・整理、分析の方法など、実物資料を活用しながら実践的な知識や技術の修得を目指します。

●保存・環境コース

史跡や町並みなどの文化遺産の保存方法、それらを活用したまちづくりのあり方について学ぶ「歴史環境」、気候・地形・植生など過去の環境復元や年代測定を中心とした「古環境科学」、文化財の材質や技法を分析し、保存方法・保存環境を考える「保存科学」の3領域から多面的に文化財を学びます。

【活動上の問題点】

社会的な歴史遺産保護への機運が高まるなか、学生のなかにも卒業後の進路として、博物館、美術館、文書館、埋蔵文化財調査員、文化財修復者などの専門分野での活躍を希望する者も少なくありません。しかし、現実社会においては、そのような分野の募集が決して多いとはいえず、大学で学んだ知識や技術を活かして社会貢献できる人材を送り出すことが年々困難をきわめています。

【他団体との連携】

(1) 出土木製品の保存処理

- ・連携先：石川県内自治体（金沢市、能都町、津幡町）
富山県内自治体（富山市）

・連携の内容

各自治体の教育委員会と連携し、各自治体管轄の遺跡から出土した出土木製品を、学生の保存処理実習用資料として借り受け、処理終了後には展示公開のための活用が可能な状態にして返却を行っています。

(2) 被災文化財の復興活動協力

- ・連携先：穴水町
- ・連携の内容

平成19(2007)年3月に発生した能登半島地震により被災した文化財の復興活動について、穴水町教育委員会からの復興協力要請をうけ、転倒した石造文化財の復元作業、個人による保管が困難な状態となり、町が寄贈をうけた古文書の調査・整理作業を行っています。

(3) 金沢市における町家調査と継承活動

- ・連携先：NPO法人 金澤町家研究会
- ・連携の内容

他大学学生と協力し、金沢市内の町家調査、町家継承活動に参加しています。



古文書の調査・整理1



古文書の調査・整理2



発掘調査（末古窯跡群）



考古遺物整理作業



町家見学



町家の再生活動



出土木製品の保存処理



屋外文化財環境調査



古文書の修復実習



絵画資料の科学的調査



古環境調査



災害復興ボランティア